

公

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かるがも園			
○保護者評価実施期間	R7.8.21 ~ R7.9.2			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53人	(回答者数)	42人(79%)
○従業者評価実施期間	R7.8.19 ~ R7.9.4			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	29人	(回答者数)	29人(100%)
○事業者向け自己評価表作成日	R8.1.21			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士・理学療法士・言語聴覚士や専門講師との連携による、専門的な療育	個別訓練やグループ訓練、グループ療育を通じて、お子さまの力を最大限に生かせるように内容を検討し、お子さまに合わせた活動を実施している。	訓練スタッフやグループ療育講師との連携・協働を図りながら、より良い療育内容になるように、検討を重ねていきたい。
2	保育園等の地域集団との連携の強化	子どもたちにあった支援が地域集団でもなされるように、情報共有や見学の機会を積極的に持つよう努めている。その際に、現場での課題を聞き取り、対応をともに検討している。	保育園等の現場の先生方のニーズに対応できるように、これからも情報共有や連携を行っていききたい。
3	地域との交流	定期的に園庭開放を行い、地域のご家族にも楽しめるイベントを実施している。	一般の参加者数も増えつつあり、今後も地域の方にかかるがも園を知っていただき、相談しやすい環境を作っていききたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就労する保護者の対応	共働きの保護者が増えており、預かり時間の延長など柔軟な対応が望まれている。	これまでも可能な範囲で様々な対応を行っているが、今後もできる限りの方法を検討していききたい。
2	保護者同士の交流	保護者の希望により保護者会が廃止されたため、保護者同士の交流の機会として研修会、懇談会、茶話会、レクリエーション活動等を行っているが、参加者は限られることが多い。	保護者のニーズを把握するなどして、保護者が参加しやすい活動内容を今後も考えていきたい。
3	業務の多忙さ	業務内容が多岐にわたり、職員の業務量が増えている。	職員の業務改善を行っていききたい。